

中国文化の重層性

—エリート文化・大衆文化・民俗文化を中心に—

講師 高丙中 氏

北京大学社会学人類学研究所教授
中国民俗学会秘書長

通訳：磯部美里（愛知大学大学院博士課程）

【主な著書】 『民俗文化与民俗生活』（中国社会科学出版社、1996）、『民間風俗志』（上海人民出版社、1998）、『居住在文化空間里』（中山大学出版社、1999）など

【概要】 1990年代以降、中国文化をエリート文化、大衆文化、民俗文化に分類し分析する方法が関心を集めている。これまで多くの研究者は「文化」について述べることに慣れるあまり、文化の背後にある集団差異を見落としがちであり、知識人が文化の創造者であることを当然とし、その他の集団における文化は取るに足りないものと見なしてきた。本講演では、知識人層のエリート文化に加え、一般大衆の中で受け継がれてきた大衆文化やある集団における価値観や行為を学び伝える民俗文化の特徴を紹介すると共に、その歴史的背景や変遷過程、文化間の衝突や融合について述べる。

2005年1月28日(金) 15:00～16:30
名古屋校舎 中央教室棟3階第一研修室
【日本語通訳あり】

【主催】 愛知大学国際中国学研究センター

【お問い合わせ先】 愛知大学 ICCS 事務室

〒470-0296 愛知県西加茂郡三好町黒笹 370

Tel : 0561-36-5637 (内線 2862) Fax : 0561-36-5422 (内線 2869)

聴講無料